

研修のアピールポイント

センターの特徴

- 全国で一番最後に設立されたセンター。平成24年の設立当時は受け入れ施設も関係機関の理解もない状態からスタートし、現在までの13年間で支援ネットワークを構築してきた

官民協働の実践例

- 自立準備ホーム登録施設を増やすため、保護観察所と協働して地域の施設に働きかけた。現在では、県内で40か所以上の施設が登録されている
- 自立準備ホームが特に多い中央区・西区の自立支援協議会に参加し、課題を共有している
- 出口支援では、特別調整対象者選定会議から参加している

1日目

オリエンテーション：

自立支援協議会への参加について

I.官民協働：

中央区健康福祉課障害福祉係及び障害者基幹相談支援センター中央と自立支援会議の概要説明・課題共有
区自立支援協議会担当者、事務局の基幹相談職員と意見交換を実施。これまでの経過・定着との連携について説明を受け、アプローチ方法を学習



I.官民協働：

中央区自立支援協議会の傍聴
自立支援協議会にオブザーバーとして参加

2日目

オリエンテーション：

自立支援協議会への参加について

I.官民協働：

新潟市障害福祉課と新潟市全体の状況・課題の説明
市全大会の担当者と、市全体の課題や取組みを通して、定着との連携について説明を受ける。重層的支援や地域での困難ケースへのアプローチなど、どの地域でも課題となることを通して学習



III.事務業務：センター職員と協議

3日目

III.援助技術：

連絡調整会議に参加

I.官民協働：

西区健康福祉課障害福祉係及び障害者基幹相談支援センター西と自立支援会議の概要説明・課題共有
区担当者、事務局の基幹相談担当者との話を受け、広域合併により同じ新潟市でも異なる課題や進め方があることを学習。今後の課題や自立支援協議会の在り方まで一緒に検討

I.官民協働：

西区自立支援協議会の傍聴
実際に、自立支援協議会にオブザーバーとして参加

受講者の声

特別調整対象者選定時点で本人が同席し、意向確認や必要な支援、方向性を検討できることは大変有意義だと感じました。



センター長はじめ職員の方と直接お会いして意見交換できたことが非常に大きな学びの場となりました。

